

山鹿市民医療センター開放型病院広報紙

10月号



Yamaga Medical Center



発行所 山鹿市民医療センター 〒861-0593 熊本県山鹿市山鹿511番地 TEL 0968-44-2185(代) FAX0968-44-2420

認定看護管理者について

私は、看護師長として外来・病棟管理を経験し、その後副部長から2011年に看護部長となりました。看護部という組織は、病院内でもっとも大人数の部門です。看護部長としての役割は、病院経営の効率化・組織の活性化などに対する活動ですが、最大の仕事は「人材育成」と考えています。看護師個々の自律的成長を支えていくためには、看護管理の知識を深める必要をあらためて感じ、認定看護管理者制度サードレベル教育研修会を受講し、2011年6月に認定看護管理者の資格を取得しました。

日本看護協会では、高度化・専門分化が進む医療現場における看護ケアの広がり看護の質向上を目的に、看護界の総意で資格認定制度を発足しました。資格認定制度には、専門看護師・認定看護師・認定看護管理者の3つの資格があります。1996年に専門看護師が初めて誕生し、1997年に認定看護師が、1999年には認定看護管理者が誕生しています。

認定看護管理者は、2015年全国で2664名となりました。熊本県では37名の認定看護管理者がおります。ちなみに、認定看護師は全国で15,935名になり、当院では認定看護管理者3名、緩和ケア認定看護師1名、がん化学療法看護認定看護師2名、感染管理看護認定看護師1名が活躍しています。また、現在救急看護認定看護師教育課程を1名が受講中です。

次に認定看護管理者について説明をしたいと思います。認定看護管理者は、多様なヘルスケアニーズを持つ個人、家族及び地域住民に対して、質の高い組織的

看護サービスを提供すること、及び看護管理者の資質と看護の水準の維持及び向上に寄与することにより、保健・医療・福祉に貢献することを目的としています。資格取得後は5年ごとの更新となり、社会活動として看護管理分野に関する研修会の講師（学習支援者、助言者、評価者）や市民・多職種参加の研修会などの企画・講演、学会・研究会への参加、論文発表などの自己研鑽が必要となります。

認定看護管理教育を通して得た学びは、自施設の存在意義や使命を常に考えながら、自身の立ち位置で何をすべきかについて考えるようになったことです。地域へ貢献できることがあれば、是非お役に立ちたいと思います。看護部長として、看護部組織をまとめるだけでなく、看護部の組織全体が地域の保健医療福祉に貢献できるように支援していきたいと思っています。

看護部長 竹下 基志子



(当センター認定看護管理者の3名) 左から 副看護部長 野中理佳、看護部長 竹下基志子、4階病棟看護部長 平山 恵

基本理念

いのち

地域住民の生命と健康への貢献

基本方針

山鹿市民医療センターは

- ① 患者さま中心の信頼される医療を行います
- ② 診療機能の充実に努め、質の高い医療を提供します
- ③ 地域の保健、医療、福祉の連携を推進します
- ④ 研修、研鑽に努め医療レベルの向上を図ります
- ⑤ 健全経営に努めます

CONTENTS

認定看護管理者について…………… P 1  
 登録医のご発言…………… P 2  
 地域医療連携だより(33)…………… P 2  
 医療最前線(78)…………… P 3  
 臨床研修を終えて…………… P 4  
 公開特別講演会…………… P 5  
 平成27年度日本肝臓学会医療従事者向け講座… P 5  
 山鹿市健康まつり…………… P 5  
 外来担当医表(10月)…………… P 6

## 登録医のご発言



大坂総合歯科  
院長 大坂 栄樹 先生

私たち大坂総合歯科は、山鹿市熊入町に平成21年1月11日に開院し、おかげ様で6年を迎えることができました。

当院の掲げる「総合歯科」とは、口腔内全体のバランスを考へることが何よりも重要であり、痛みを取り除くなどの対処法だけではなく、各専門領域のプロフェッショナルが集結したチーム医療による全体治療で、患者様のお口の問題点の解決を行っていく必要があるという考へに基づいています。その為大坂総合歯科には様々な専門性を持った歯科医師が在籍しています。口腔外科では毎週木曜日に久留米大学口腔外科より津山先生に、矯正治療では福岡から義歯担当医にお越し頂いています。

また以前来院して頂いておりました患者様が来院が困難になった場合や、かかりつけをお持ちでない方には、訪問診療を行っております。一般的な歯科治療はもとより、嚥下が困難になってきた方には、歯科からのアプローチを行い、特殊な装置を作成し、口から食べる事のお手伝いができたらと思っています。最近の歯科事情はとかく審美的な治療が目立がちです。

私たちの考へる歯科治療の本質は機能回復です。歯科における「機能」とは、咀嚼・嚥下・発語の3つで

す。私たちはそれらの回復を常に心がけております。また、当院では2つのことにこだわっています。

一つ目は、当院ではユニバーサルプレコーションという概念に賛同し徹底した滅菌を行うため、患者様のお口の中に入るすべての器具は、ガス滅菌機、高温・高圧滅菌機にて滅菌しており、当院の第二種滅菌技師が管理しております。

二つ目は、補綴装置（詰め物・被せ物・入れ歯）へのこだわりです。患者様のお口の中に調整のない状態で入れたいという気持ちから、厳密な室温管理や、型とりの一つ一つの材料、精密な模型を作るということにこだわり、患者様においしく食事していただけることを目標にしています。そのために歯科医師・衛生士・技工士が連携しチーム一丸となって日々精進しております。

今後も地域に貢献できる様に頑張りますので、よろしくお願い致します。



## 地域医療連携だより (33)

### 当センター地域医療連携室より

#### ■紹介患者さまのFAXによる診療予約について

各医療機関から当センターへの患者紹介を、円滑に、簡単にしていただけるようにFAXでのご紹介をお受けしています。ご紹介の際には、希望診療科、受診希望日等を記載の上、FAXで予約いただきますようお願いいたします。

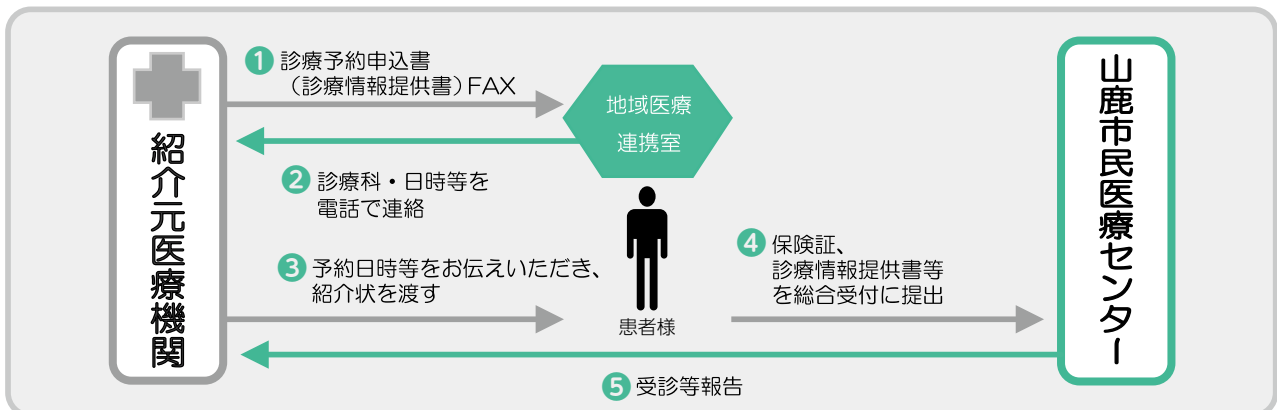
なお、ご紹介いただきました患者さまについては、ご来院いただきましたことや主治医による診療結果について、ご紹介いただいた先生へ随時報告させていただきます。

だいております。漏れのないように努めておりますが、お気づきの際には地域医療連携室までご連絡ください。

※ご希望内容・受診科によっては予約調整にお時間をいただく場合がございます。

※当センターの「診察予約申込書(診療情報提供書)」をご利用ください。(貴院の診療情報提供書をお使いいただいてもかまいません)

※「診察予約申込書(診療情報提供書)」がなくなりましたら、補充させていただきますので、地域医療連携室までご連絡下さい。





**医療最前線 (78)****C型肝炎ガイドラインについて**

消化器内科  
古閑 陸夫 先生

昨今、消化器領域で最も話題のトピックであるC型肝炎ガイドラインについて今回は触れたいと思います。

C型肝炎はC型肝炎ウイルス（HCV）感染によって引き起こされる肝炎で、HCV感染者は日本に150万～200万人と推定されています。HCVは遺伝子により10種類以上に分けられますが、日本ではそのうち1型と2型がほとんどを占めます。HCV感染の多くは慢性肝炎となり、徐々に肝硬変や肝癌へ進展していきます。肝硬変や肝癌への進展を予防するためHCVに対する抗ウイルス療法が検討され続けてきました。

C型肝炎に対する抗ウイルス療法として、日本では1992年インターフェロン（IFN）治療が導入されました。その後、リバビリンも併用されるようになり抗ウイルス効果は更に高くなりました。しかし、IFNが効きにくい1型高ウイルス量では著効（SVR）率が40-50%に留まっていました。そこに2011年テラプレビル併用の併用が可能になり、更に皮膚症状の副作用が多かったテラプレビルに対し、2013年には副作用の少ないシメプレビルが併用可能となりました。それに伴いSVR率は90%となったのです。

しかし、治療効果は上がったもののIFNはインフル

エンザ様症状や血液障害、精神障害など様々な副作用が起きるため、患者はきつく、また一部の既往がある方は治療を受けることができませんでした。

そんな中、2014年7月アスナプレビルとダクラタスビルというIFN抜きの画期的な治療が認可されました。この治療は大きな副作用がないため、今までIFN治療ができなかった方、高齢の方、更には代償性肝硬変まで治療可能となったのです。ただし保険適応上IFN治療が出来ないあるいは無効の1型高ウイルス量に限られ、耐性ウイルス出現の可能性があることが問題でした。

そこに今回、2015年3月HCV2型に対しソホスブビル/レジパスビル併用療法（SVR率97%）、9月にはHCV1型に対しソホスブビル/リバビリン併用療法（SVR率99%）が認可されました。高額という問題はあるものの（日本の薬価は1錠6万円以上）、IFNフリーで経口剤かつSVR率が高いこの薬は衝撃的で、製造元ギリアド社の売り上げがバイオ製薬会社世界第2位となったほどです。

このようにC型肝炎の治療法はここ数年で急速に変化し、ガイドラインも1年間で3回も改定されました。今後も新薬の認可に伴い治療法が変化していくと思われます。

C型肝炎の治療法で悩まれることがありましたら、当院は大学病院消化器内科とも密に連携を取っておりますので御相談頂ければ幸いです。

**原稿を募集致します**

登録医の先生の投稿を歓迎いたします。400～800字程度を基準とします。

送付先 〒861-0593 山鹿市山鹿511番地 山鹿市民医療センター 地域医療連携室

ホームページをご利用下さい。病院の最新情報をご覧になれます。

<http://yamaga-medical-center.jp>

## 臨床研修を終えて



吉村 直人 先生 (研修期間：平成26年10月から平成27年9月まで)

初期臨床研修医2年目の吉村直人です。山鹿市民医療センターにて1年間研修をさせていただきました。

出身地の山鹿に帰ってきての研修でしたが、今までと異なる環境、研修医は私一人と、不安も多い中で始まった研修でした。

しかし、坂田先生を初めとした医局の先生方に支えられ、1年間の研修を無事に終えることができました。

外来・病棟・手術室等様々な場所で、大学病院では経験できなかった手技を経験し、知識を学び、充実した研修生活を送ることができました。

また、看護師、リハビリ室の方々等、コメディカルスタッフの方々にも大変お世話になりました。病棟では挙動不審で、頼りない姿ばかり見せてきましたが、そんな私にも優しく教えていただきありがとうございました。1年前と比べて、少しは医師らしい姿になったでしょうか？

一年前に私が記載したカルテを見返してみると、よくわからない考察・拙い記述ばかりであり、恥ずかしさがこみ上げてきましたが、逆に自分の成長を実感できました。もちろん今でも足りないことだらけであり、これからも勉強の日々が続きますが、いつかもっと成長した姿を見られるようより一層の努力をしようと思います。

1年間ありがとうございました。



上野 達郎 先生 (研修期間：平成27年9月)

1か月という短い期間ではありましたが、研修を受け入れて頂き、誠に有難うございました。ご指導頂いた先生方や、周りで支えて下さった皆様にも重ねて御礼申し上げます。

山鹿市民医療センターでの研修では、昨年勤務していた大学病院や現在の病院とまた異なった医療を経験することができました。地域に根ざした病院としてcommon diseaseの治療を行い、地域の中核病院として脳血管障害などの対応をしていくわけですが、その中で病院のハード面などでの限界を見据え、必要とあれば他院への搬送や紹介といったことを行う上で、今まで以上に「連携」の面を意識させられました。また、緩和ケアや訪問看護といった分野の一旦を垣間見る事ができたのも貴重な経験となりました。

研修以外の面でも山鹿の幸や温泉を満喫させていただき、公私共に充実した1か月だったように感じています。

山鹿での研修も残り僅かとなってしまいましたが、残りの日々をよく学びよく浸かって、より充実したものとし、今後活かしていきたいと思っています。



井手 綾子 先生 (研修期間：平成27年9月)

当センターでの研修においては、外科の先生方をはじめ、病院全体の多くの方々に大変お世話になりました。ありがとうございました。

特に感じた事はスタッフの方々の雰囲気がとてもよく、何に対しても丁寧に対応して下さい、患者さま一人ひとりに対して温かい心の通った医療が行われていると感じました。外科研修では様々な手術で手技も含めて教えて下さり大変貴重な経験が積み重なりました。

これからもお世話になる事もあるかと思っておりますので、今後ともよろしくお願い致します。



金光 久美子 先生 (研修期間：平成27年9月)

山鹿市民医療センターで研修させてもらって一番感じたことは、職員同士が会うたび挨拶をし、仲がいいことです。その雰囲気を患者さまも感じているようで、看護師さんが優しいとおっしゃっていました。

私も研修した病院は少ないですが、この病院の雰囲気はとても居心地がよいと感じました。温泉も満喫することができ大満足です。

院長先生をはじめ外科の先生方・事務の方々には優しく声をかけてもらい、気にかけていただきまして過ごしやすかったです。本当にありがとうございました。

## 研修のご案内

### 第32回公開特別講演会のご案内

(日本医師会生涯教育講座 1.5単位)

取得カリキュラムコード 番号・コード名  
73.慢性疾患・複合疾患の管理 82.生活習慣 84.その他

下記により第32回公開特別講演会を開催致します。  
多数ご参加くださいますようお願い申し上げます。

鹿本医師会会長 幸村 克典  
山鹿市民医療センター事務管理者 豊永 政和

記

日 時：平成27年10月9日(金) 19:00～20:30  
場 所：山鹿市民医療センター 1階医療研修センター  
演 題：「糖尿病診療のUpdate  
～新しい治療薬と熊本宣言の活用～」  
演 者：熊本大学大学院生命科学研究部  
代謝内科学分野 教授 荒木 栄一 先生  
会 費：無料

お問い合わせ先  山鹿市民医療センター  
事務部総務課 富田、福山  
TEL：0968-44-2185 (内線608)

### 平成27年度日本肝臓学会 医療従事者向け講座のご案内

(日本医師会生涯教育講座2.0単位)

取得カリキュラムコード 番号・コード名  
9.医療情報 12.保健活動 13.地域医療 73.慢性疾患・複合疾患の管理

下記により平成27年度日本肝臓学会医療従事者向け  
講座を開催致します。多数ご参加くださいますよう  
ご案内申し上げます。

記

日 時：平成27年10月29日(木) 19:00～21:00  
場 所：山鹿市民医療センター 1階医療研修センター  
演 題：「肝がん撲滅運動 肝がんゼロを目指して  
～新たなる局面を迎えた肝疾患診療～」  
司 会：山鹿市民医療センター  
消化器内科長 堤 英治 先生  
演 者：熊本大学大学院生命科学研究部  
消化器内科学分野 泉 和寛 先生  
会 費：無料

お問い合わせ先  山鹿市民医療センター  
事務部総務課 富田、福山  
TEL：0968-44-2185 (内線608)

## 第6回 山鹿市健康まつり

■日時 平成27年11月7日(土) 午前9時45分～午後1時  
■会場 山鹿市民医療センター

### 催し物(予定)

#### メインステージ

- ・オープニングセレモニー  
(山鹿中学校 太鼓部)
- ・開会式行事
- ・山鹿もてなしたい  
(三味線・山鹿灯籠おどり等)
- ・保育園児おゆうぎ
- ・バンド演奏

#### 市民公開講座

- 「感染予防  
～生活の中で気をつける感染症～」
- 「がん検診  
～知っておきたいがん検診(仮)～」

場所：玄関ロビー

#### 健康相談・展示コーナー

- ・お薬の相談コーナー(薬剤師会)
- ・健康相談(看護協会)
- ・栄養相談(栄養士会)
- ・ストーマについて
- ・身体障害者手帳の申請について
- ・自己検診用触診モデル
- ・福祉用品、機器の展示

#### 参加・体験コーナー

- ・無料ミニ検診  
身長、体重、体脂肪  
BMI、血糖測定、物忘れ  
測定
- ・AEDの使い方
- ・抹茶席

#### にぎわい広場

- ・バザー
- ・ヨーヨーつり
- ・カレーライス
- ・だご汁
- ・おにぎり弁当
- ・わた菓子
- ・物品販売(手作り小物・クッキー等)
- ・その他

今年も健康まつりを  
開催します  
待ってま～す!



雨天の場合、野外  
での催し物は中止  
します。



# 外来担当医表

10月

診療科名	月	火	水	木	金
内科	永野久俊・坂田典史	坂田 典史	吉岡 明子	永野久俊・坂田典史	永野 久俊
呼吸器内科 (紹介外来制)	—	※ 後藤 英介	※ 後藤 英介	—	※ 後藤 英介
循環器内科	大庭 圭介	大庭 圭介	※ 金子 祥三	※ 海北 幸一	大庭 圭介
内分泌・代謝内科	児島 協	—	児島 協	—	児島 協
消化器内科	※ 立山 雅邦	古閑 睦夫	堤 英治	堤 英治	瀧川有記子
整形外科 (紹介外来制)	高木 茂 工藤 智志 平山 雄大	工藤 智志 矢澤 克典 平山 雄大	手術 (担当医)	高木 茂 矢澤 克典	手術 (担当医)
外科	大熊 利之	手術 (担当医)	池上克徳・宮村俊一	手術 (担当医)	飯田伸一・宮村俊一
乳腺外科	—	※ 末田 愛子	—	—	—
泌尿器科	結城 康平	※ 山崎 浩藏	結城 康平	※ 村上 洋嗣	結城 康平
小児科	※ 石井 真美 9:00～16:30 (受付は16:00まで)	—	※ 石井 真美 9:00～16:30 (受付は16:00まで) ※ 予防接種(午後)	※ 石井 真美 9:00～16:30 (受付は16:00まで)	—
セカンド タ ー 器	耳鼻咽喉科	—	※ 深見 直美	—	※ 土生健二郎
	眼科	榮木 大輔	榮木 大輔	榮木 大輔	榮木 大輔
産婦人科	福島 泰斗 井上 弘一	—	福島 泰斗 井上 弘一	福島 泰斗 井上 弘一	福島 泰斗 井上 弘一
総合診療科	—	※ 本郷 弘昭	—	—	—

◎診療時間は、8:30開始で11:00受付終了となります。予約変更の電話は、午後2時から4時までをお願いします。

◎小児科の予防接種は水曜日の午後に完全予約制で行います。

※は、熊本大学病院等からの非常勤医。

# 特殊・専門外来

10月

名称	担当医等	実施日	診察場所
セカンドオピニオン外来	※ 本郷 弘昭	毎週 火曜 (午前)	外科
禁煙外来 (予約制)	坂田 和子	毎週 月曜 (午後)	内科
睡眠時無呼吸外来	坂田 和子	毎週 火曜・木曜 (午後)	内科
乳腺外来 (化学療法外来)	※ 末田 愛子	毎週 火曜	外科
女性外来 (婦人科、思春期、更年期)	※ 片渕美和子	10/1(木)、6(火)、13(火)、20(火)、22(木)、27(火)	産婦人科
ストーマ外来	担当医	毎月 第3水曜 (午後)	外科
PEG外来	担当医	毎週 水曜 (午後)	外科
緩和ケア外来	坂田 典史	毎週 金曜 (14:00～16:00)	内科
糖尿病外来	児島 協	毎週 木曜 (9:00～12:00)	内科
小児科予防接種 (予約制)	※ 石井 真美	毎週 水曜 (受付時間13:30～15:30)	小児科
両親学級 (予約制:産婦人科)	助産師	第2・第3・第4日曜日 (10:00～12:00)	5階病棟
助産師外来 (乳房マッサージ・保健指導等) ※ 予約制	助産師: 田中妙子	月曜、木曜 (8:30～16:00)	5階病棟

◎特殊・専門外来については、各診療科にお尋ねください。

◎セカンドオピニオン外来については、地域医療連携室にお尋ねください。

◎急患の場合は、この限りではありません。

◆注意: 学会等の都合で変更になる場合があります。

◆最新の担当表は、ホームページをご覧ください。

山鹿市民医療センター

〒861-0593 熊本県山鹿市山鹿511番地  
TEL(代表)0968-44-2185 FAX 0968-44-2420  
<http://yamaga-medical-center.jp>